

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけちゃんち			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年3月4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名(通所利用している人数29名)	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2025年2月14日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	統一した支援に向けてスタッフが丸となっている。	・毎朝、打ち合わせを行ないながら各利用児の状況を踏まえてスタッフの配置や活動の設定について綿密な打ち合わせが出来ている。 ・万が一、想定外の事が起きた場合もシミュレーションしながら支援方法を考えることが出来ている。 ・この積み重ねでスタッフは落ち着いて支援出来ている。	・どんな小さなことでも各利用児の状況をスタッフ間で共有し、環境面・情緒面等に配慮しながら支援が出来るようにしていく。
2	出来たら褒めて自信へとつなげていく	・活動を通して出来たことに関してはどんどん褒めて自信へとつなげていけるよう支援している。 ・声掛けとしては「すごいね」「できたね」などプラスの言葉で伝えていき、各利用児がまたチャレンジしてみたい！という気持ちが芽生えるように促している。 ・連絡帳や送迎時に保護者様に伝えるようにしている。	・就労している保護者様もあり、連絡帳で伝えてはいるものの直接話せない家庭があるので、たけちゃんち通信で出来る様子を写真で伝える工夫が必要。 ・面談などで各利用児の様子を写真で提示していく。
3	活動を思いっきり楽しめる雰囲気作り	・毎回活動を楽しみにしている利用児が多い。 ・たけちゃんち通信でその日の設定活動が何か把握している子もいるくらい楽しみにしている。 ・活動がさらに盛り上がるように必要に応じてスタッフも交えて勝負をしたりと工夫しながら支援している。	・スタッフも交えて一緒に楽しみながら様々な経験が積めるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時等の避難訓練等の強化	・自然災害における各避難訓練を活動で行なうことが少なかった。 ・たけちゃんち(多賀城市)は東日本大震災で被災した地域でもあるので、様々なシミュレーションを想定しながら各利用児も交えて訓練する必要がある。	・設定活動に取り入れながら参加が出来るようにしていく。 ・各利用児の避難訓練も行ないながら、スタッフも会議の中で避難訓練の実際のルートを歩くなどしていく。
2	地域に開けた地域作り	・地域ぐるみでの関りが希薄である。地域を巻き込みながらのイベントをしたことがなかった。	・年間で予定している行事の中で地域の一般入場が出来るものについては、地域に周知させて参加できるようにしていく(例：夏祭り・文化祭 等)。
3	各利用児以外の家族の交流	・各利用児向けに行事を行ってきたが、それを取り巻く家族やきょうだい児への交流が希薄だった。 ・今後は家族やきょうだい児向けのイベントを作っていく必要がある。 ・そういった会を作っていながら保護者様同士、きょうだい児同士での輪が広がれば良い。	・夏祭りできょうだい児もどんどん参加できる旨を伝えていき、参加率を向上させる。 ・家族向け、きょうだい児向けの会や研修の開催の検討・企画をする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たけちゃんち

公表日 年月日：3月29日

利用児童数 30名(実際に利用している人数29名)

回収数 20名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	6	5		・今後は地域の子供たちと触れ合えるような機会を少しずつ作っていきます(夏祭りや文化祭のいー般入場など)。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	1	※無回答1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	1	4		・今後は家族の方も参加できるような研修会や情報提供に努めています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	5	1	1		・保護者会は年1回開催できていますが、きょうだい児支援までは至らなかったもので、そういったイベントも盛り込んでいきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0	※無回答 1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	0	※無回答 1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1	※無回答 1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	3	※無回答 1	・事業所内では各マニュアルがある一方で保護者様への周知が出来ていなかったもので、適宜、プリント等で示していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2	0	2	※無回答 2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	0	※無回答 1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2	※無回答 1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	2	0	1	※無回答 1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	1	※無回答 1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	1	※無回答 1 ・いつもありがとうございます。 ・ありがとうございます。	・いつもご利用いただきありがとうございます。今後より良い支援を行ないながら楽しいけちゃんちを作っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
		2025年 3月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・必要に応じてトレーラーハウスを使用して人を分けて活動している。 ・人数が多い時、トレーラーハウスに分けて活動をしている。	・てんかん発作時や急病が出た時に休める部屋があるといい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3	・人数が足りない時はヘルプを出している。	・もう1人配置できるといい。 ・もう少しスタッフの人数がいた方がいい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・子どもたちが好きなように遊べている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日消毒をしている。 ・感染症が多かったり体調不良者がいた時には、次亜塩素酸ナトリウム溶液で対応している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・月1回会議をしている。 ・たけちゃんち会議を通して、ヒヤリハットや利用児の支援の方向性を一緒に考えることが出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修の機会が増えた。 ・年1回法人研修があり学びを深めている。 ・デイ部門でも研修を設けて、他事業所とも研修を図れている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・各スタッフの意見も聞きながら、利用児のより良い支援について考えることが出来ている。 ・原案検討会議で、各スタッフの意見も聞くことが出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・流行している遊びや制作・音楽を取り入れている。 ・リーダーになった人が活動を決めている。 ・月ごとの設定活動を決める際は、各スタッフからの案を取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・トレーラーハウスに分けてやっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝に打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・当日の振り返りは時間の関係で出来ないが翌日のミーティングの時に共有している。 ・残っているスタッフに話したり、朝に話すこともある。 ・退勤時間が違うので、翌日以降に行なっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		・全職員に伝える場はないため、確認できる場があるといい。 ・支援を行なっていると思うが、私にはまだ理解できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・できる限り参加し、会議後は各スタッフに共有を図っている(主に児童発達管理責任者、各利用児の担当者)。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・送迎時に申し送りがある。 ・何かあった時には送迎時に直接スタッフが状況を説明している。 ・就労の家庭は電子機器(電話・LINE)で伝えることもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・できる限り参加し、会議後は各スタッフに共有を図っている(主に児童発達管理責任者、各利用児の担当者)。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・地域小学校の学童を利用している子がいるため、挨拶程度の交流はある。	・行っていると思うが、まだその機会に立ちあっていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に状況を伝えている。 ・就労の家庭は電子機器(電話・LINE)で伝えることもある。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に保護者様と一緒に読み合わせをしながら理解できるように工夫している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡帳や送迎時で保護者様から出た話についてはアドバイスしたり、一度持ち帰りスタッフ間で話していきながら保護者様に伝えることもある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・年1回保護者会を開催している。 ・毎年7月11日に保護者会を行なっている。 ・不参加の家庭のにも保護者会の資料は配布し、周知を図っている。	・保護者会を開催しているが、就労している家庭は不参加率が高い。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・毎月たけちゃん通信を発行している。	・ホームページに関しては、定期的な更新が出来ておらず、反省点。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・スーパーなどに行って地域の中で過ごす活動を取り入れ、知ってもらうことはしている。	・地域に向けて招待していない。 ・行っていると思うが、まだその機会に立ちあっていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		・マニュアルはあるが、もっと周知していけるといい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	5		・行なっていると思うが、まだその機会に立ちあっていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者様からアレルギーの提供をしてもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝の打ち合わせや会議で話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		